

賀茂
倭寛
松風
西行櫻
浮舟

觀世流改訂儒本

丙
十

明治四十三年四月三十日印刷
明治四十三年五月五日發行

訂正者、檢印
十キモ、ハ偽版也

東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正兼
發行者

丸

岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者

塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所

凸版印刷株式會社

東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所

觀古流改訂本刊行會

電話番町二五四四番

文學博士

井上頼国

本文監修

丸岡 柱

本文訂正

親世清定

節附訂正

賀茂

六月
前シ
後ツレ
早ツキ
別雷神
前八里女
同神天里
職女女神

早第

清き水の上で寝てや。賀茂

客居よまらん。そのもくろみは播

州室の羽神はは申ま神職の者

あり。さても都は賀茂と。當社室の

羽神といふ一鉢もてさるゝへとも。

まなま信申さるゝ程は。此度思ひ立

せむやとなぐい旅衣まをうぐれ
 新踏をくけ魚ひなつ浦は良船
 踏のどけき春風の幾日かぬらん跡
 まもいさ白雲はさうぐさうも思ひ
 播磨高砂の浦よきちなはわり
 上りて高砂の浦よきちなはわり
 真一歩高砂の浦よきちなはわり
 くられて尾上の鐘も響くなり

ツレニ
は霞の磯ぐれ。音こそ潮に満
干あれ。作とも知らんよせん高
砂の松も昔れ友あそで。思あ
せもあそ雪の積りくもむれ鶴
のねども残る有羽れ。春の霜夜の起
居よも松しとの又聞きあれて。心を友
と。思ひを述ぶるぞあり

上
 音づれ松とさう海辺の落葉衣
 上
 袖そへては霞の塵をわうよく
 上
 雲の萬砂のく尾ふの松も年々
 上
 て。老の波もさうさ。なれ下る落れ
 上
 落葉のさうあるまで命なごうへて
 上
 ねりもさうお生れ松。それもさうさ
 上
 落葉のさう！ 里人と相待つ家よ。

未だ文様事なり。いふはうゝあるを
 又尋ねるは、^ニなだの事なり
 いふ事なり。いふ
 いふの事なり。いふ
 清めるを、いふの松なり。いふ
 砂の江に松は相生ふ石あり。當所
 といふと、國を隔てたるは、行きて相

生の松と申すぞ 伝^{シテ}せぬ古^コ今^{キン}

の序^ミは高砂^{タカサ}の江の松もあひあひ

けものふさふさといふなり。秋射

津の國信吉^{ノリキ}者^{モノ}のあつ焼^{ヤキ}こそ常

所^{トコロ}人^{ヒト}あり知るやあつ中^{ナカ}さな入^{イル}

外^{ソト}も目^メの老^{ロウ}人の吏^シ将^{ショウ}一^{イチ}所^{トコロ}は

ありなり。素^ソもいふに高砂^{タカサ}の浦^{ウラ}

山國を隔てまむと。いふにあり。ず
や。らん。な。て。れ。に。せ。ら。や。心。萬
里を隔つるも。たゞい。は。通。ふ。心。づ
ひの。様。ぞ。け。通。い。き。う。も。ま。う。
案。づ。も。ま。は。ん。ぜ。な。高。砂。石。の。に。の。
松。の。非。情。の。も。れ。だ。ま。も。相。生。し。名。い。あ。
つ。ぞ。め。ま。う。て。や。生。あ。る。人。と。し。て。

年々くも侵きより。面ひなれたる母
と妹^{ムスメ}松^{マツ}もろろもよ。江平まで相生
のま棒^{マツバ}となるもれや。いさめを聞
け。面^{オモ}も。ね^ネも。あ^アも。聞^クきつる。相^{アイ}は。松
のお^オ語^{コト}や。ず^ズは。ち^チひ。置^ヅく。ち^チひ。あ^アも。
昔^{シテハ}人^{ヒト}の申^ウま^マい。な^ナめ^メで。な^ナあ^アも。の
なり。あ^アり。高^{コウ}砂^サとら^ラひ。え^エ代^{ダイ}れ。

万葉集のいふ入の義ニテに吉と申

も。今決ては後行ハエンギ延喜はさず

本ツトと書ツまぬ言ハのニテ言ハえハ今コ

相用ツと御代ハもあハなハとあり

よハくハ圓ハけハあハりハなハ。今ハそハ不ハ審ハ

春日ハのハ光ハもハらハぐハ西ハけハ海ハのハらハ

一ハこハのハ後ハのハにハとハ高ハ砂ハ松ハもハ

いそそひニテ春も早長閑カトは上・西海カイ
 浪静ナミヤうそてス國もス作サまる時トキつ凡ソレ枝エを
 あさぬサ代ヨなりサやトあひイは相アすの松マツ
 をめメでたタちけケはハやヤ仰オホぎギても
 こコも思オモやヤあアらラせセよヨあアらラる民タチそソて
 豊ユタカあるアル居イの凍コえエでデあアりリかカなナきキ！
 なほナホくク高砂タカサの松マツめメでデなナらラせセ

毒く序わ借りはクハ地に引シひ来オモ心モク
あとい申サせサるも花ハナ實ツツの時トキとなナぐも。
陽春ヨウシュンの徳トクを具ツクへて南ナン枝シ花ハナ始ハジめて
開ヒく。出デれるも汎フナ松マツ。其ソノ元ゲン色シキこそ
あらずて花ハナ葉エフ時トキをわワくも。四ヨつ
の時トキありても。一ヒトを平ヘイけ色シキ雪ユキけらも
深フカく。又マタ花ハナの色イロ十ジュウ通トウりもさイへり

つてさうなよりやね枝の言はる草の
露玉心を磨く塵とありてはま
るまけるわがよき東島にげはる
甲子三月廿七
るも然る長能き城はるも有情
非情の具勢はる歌はる事あり
そまが沙風聲水音まで萬物に
心あり春のねはるはる動き秋の

虫の吐露、あゝも清和歌の姿、
ま、仲も、松、萬、本、勝、て、十、
は、狂、ひ、る、秋、に、緑、を、あ、て、た、今、
の色、と、見、ま、て、如、室、の、所、を、あ、つ、る、
は、れ、本、あり、て、異、國、も、本、然、も、
萬、民、と、い、つ、と、賞、翫、す、ヤ、高、砂、尾、上、
の、鐘、の、音、を、あ、り、。一、曉、り、て、雲、の、置、